

適切な採択を行うことが重要である。これまでは、全国的に教科書会社の営業活動や特定勢力の妨害に左右された経緯も報道されているが、教育委員会の教科書採択の基本的な考えは。

答 本市の児童生徒に最も適切な教科用図書を選採するという基本方針を定め、適正かつ公正な採択となるよう選定委員会を設置し、調査員が調査・研究を行っている。最終決定は、教育委員自らの調査に基づく判断材料や、選定委員会からの答申内容を十分検討し、また、必要に応じてより詳細な資料を選定委員会に求めるなど、各教科の一つ一つを厳正に審議し決定している。

確かな学力（新政クラブ）

問 ①学校教育ビジョン策定後の本市における確かな学力についての分析と評価は。

②基礎・基本定着状況調査の実施は、教育水準の向上を図る上で必要であり、全学年への実施が有効と考えるが、今後の取り組みは。
③分かる授業を行い、確かな学力を育むため、力量ある教職員の育成が必要と考えるが、取り組み

状況は。

答 ①学校教育ビジョンを策定して2年が経過し、成果も現れてきている。今後は、「ことばの力」を育成するため、学校図書館用図書の充実を図るなど、読書教育に力を入れていく。

②基礎・基本定着状況調査の全学年実施は、全国規模の学力テストも検討されており、状況を見ながら本市も検討していく。
③力量ある教職員の育成については、研修の形態や内容の改善を図り、より実践的な研修に重点を置き実施しており、今後とも育成に努めていく。

◆関連質問
・基礎・基本定着状況調査の状況（水曜日）
・教職員の配置、教育環境の整備など（市民連合）

教育行政（日本共産党）

問 ①県教委が配布した、新しい歴史教科書をつくる会が主導して作った資料は使わないこと。

②学校間格差を拡大し、中学校教育の困難を一層広げる通学区制度は、拙速に導入せず、地域のつ

ながりを大切にし、すべての子どもたちの成長と発達を保障する教育の充実に力を注ぐこと。

③国基準に基づき、児童・生徒が800人以上の小中学校に養護教諭の複数配置を。さらに、500人以上の学校にも複数配置を。



休憩時間に元気よく遊ぶ子どもたち

答 ①教科書採択は、教育委員会としても、適正かつ公平にやっていく。1社の資料配布については、このたびの採択に当たっては他に配布するつもりはない。

②通学区制度は、答申の趣旨を尊重し、来年4月実施に向け取り組む。
③養護教諭の複数配置は、国基準

の措置を県教委に求めており、国には拡充を含む第7次教職員定数改善計画の着実な推進を要望している。

◆関連質問
・学校給食の安全性について（緑風会）
・正規教職員の確保と配置（市民連合）
・通学区の弾力化（新政クラブ）

福山市民憲章

- 1 心に太陽をもち胸をはって元気に働きましょう
- 1 小さな親切を勇気をもって行いましょう
- 1 きまりを守りよい習慣をつくりましょう
- 1 子どもたちのために明るい家庭と美しい町をつくりましょう
- 1 文化を育て健康で平和な社会を築きましょう
- 1 人権を尊重し差別のない人間関係をつくりましょう